

日本語・日本事情

Japanese Language & Culture

教 授 鎌田 倫子 Tomoko Kamada

◆ 研究概要

日本語文法を中心とする日本語学, 日本語教育方法の研究と異文化間理解教育を主な研究領域としている。具体的には, 本年度は, 教育方法の研究として, 昨年度より引き続き進めていた, フレームによる科学読み物教材研究のまとめの時期に入り, 初中級教材の開発研究の仕上げとそれを基に複数のクラスを使い, 共同で授業研究を行った。また, 新しく科学研究費による日本語教育プログラムの評価研究を始め, 本年度は, 北陸地域の大学の日本語教育プログラムのデータ収集を行った。

◆ 著 書

- 1) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子, 深川美帆: 理科系学習者のための日本語で学ぶ日常科学, 富山大学杉谷キャンパス日本語プログラム編, 第2版 2008, 8.
- 2) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子, 岩本阿由美, 高畠智美, 松岡裕見子: 理科系学習者のための日本語で学ぶ日常科学 2, 富山大学杉谷キャンパス日本語プログラム編, 2008, 8.

◆ 原 著

- 1) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子: 理科系学習者のための科学的トピックによるフレーム教材の開発, WEB版『日本語教育実践研究フォーラム報告』, 2008年度日本語教育実践研究フォーラム, 2008, 12.

◆ 学会報告

- 1) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子, 他 3 名: 理系学部 of 日本語コース設計と評価に影響する要因, 日本語教育方法研究会, 2008, 3, 15, 東京.
- 2) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子: 理科系学習者のため科学的概念を中心とした教科書の開発 - 試作教材の概念, 語彙, トピックの検討による改善 -, 日本語教育実践研究フォーラム, 2008, 8, 2, 東京.

◆ その他

- 1) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子, 他 3 名: 理系学部 of 日本語コース設計と評価に影響する要因, 日本語教育方法研究会誌, Vol.15 No.1, 2008.
- 2) 鎌田倫子, 渡部学, 中河和子: 理科系学習者のため科学的概念を中心とした教科書の開発 - 試作教材の概念, 語彙, トピックの検討による改善 -, 日本語教育実践研究フォーラム要旨集, 日本語教育学会研究集会委員会編, 2008.